

## ○一般社団法人 日本森林学会 2022年度（令和4年度）第3回理事会 議事録

日時：2022年9月9日（金）13:00～17:30

場所：Web 会議システム（Microsoft Teams）を用いて開催

開催者：丹下 健

出席者：会長）丹下 健，副会長）正木 隆，理事）陣川雅樹，伊藤 哲，山中典和，溝上展也，石崎涼子，長池卓男，井上真理子，小杉緑子，久保田多余子，泉 桂子，黒田慶子，船田 良，枚田邦宏，大久保達弘，小山泰弘，梶本卓也，監事）宇都木玄，主事）小田智基，山川博美，福田陽子，吉藤奈津子，星野大介，鶴田燃海，杉浦克明，玉井幸治，稲永路子，長谷川陽一，檀浦正子，櫃間 岳，編集部）町田庸子 [学会誌刊行センター]，事務局）稲村崇子，オブザーバー）高木美貴 [林野庁]，八坂通泰 [全林試協]

議長：丹下 健

Web 会議システム（Microsoft Teams）にて出席者全員が問題なく参加できており，出席者が適時的確な意見表明が互いにできることを確認し，議案の審議に入った。

### 審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下のとおりである。

#### 1. 「2-11 日本森林学会収入支出内規」の改正

伊藤理事（会計担当）より，日本森林学会誌のオンライン化による発行号数，及び発行部数の削減に伴い，日本森林学会誌の広告掲載料の年間契約を廃止し，一号あたりの広告掲載料を半額にすることが提案され，提案のとおり承認された。改正内規の施行日は，日本森林学会誌 104 巻 7号の発行日とし，後日総務から報告することが決まった。

#### 2. 「3-1 日本森林学会誌投稿規定」の改訂

長池理事（日林誌編集担当）より，プレプリント原稿の取扱プロセスについて追加し，「その他」の原稿においてもページ数の超過を認める改訂案が提案され，提案の通り承認された。

#### 3. 「3-2 日本森林学会誌執筆要領」の改訂

長池理事（日林誌編集担当）より，オンラインジャーナル化に対応するため，投稿時のテンプレートファイル使用，図表のアップロード方法，引用頁を明らかにして参照する場合の引用方法，誌名の慣例的な略記法がない場合の記載方法，ウェブ掲載の記事やプレプリントの引用方法，注の記載方法を追記する改訂案が提案され，提案の通り承認された。

#### 4. 「4-5 日本森林学会誌編集方針」の改訂

長池理事（日林誌編集担当）より，掲載原稿の訂正・撤回についての対応について追記する改訂案が提案されたが，著者からの依頼があった場合と不正があった場合で分けて記載した方がよいという指摘があり，会計・JFR 担当とも相談の上，再度審議されることとなった。

#### 5. 臨時委員会「大学教育検討委員会」の設置

枚田理事（JABEE 担当）、井上理事（企画担当）より、臨時委員会「大学教育検討委員会」の設置が提案され、提案の通り承認された。

#### **6. 学会企画「帰国留学生会員およびアジアの林学会とのネットワークフォーラム」開催の提案**

大久保理事（国際交流担当）より、第 134 回大会の学会企画として「帰国留学生会員及びアジアの林学会とのネットワークフォーラム」を開催し、ポスター発表と交流会を行うことが提案された。企画の開催については承認されたが、今後運営委員会、プログラム編成担当とも調整が必要であるため、企画担当を通して申請し、詳細について検討することが決まった。

#### **7. 日本森林学会「国際交流の基本方針」の策定**

大久保理事（国際交流担当）より、留学生の会員の帰国後の研究活動の支援とそれぞれの地域の森林科学の発展に資することを目的に「国際交流の基本方針」が提案されたが、アジアを中心とした海外林学会との交流だけで良いのかという指摘があり、次回の理事会で再度審議されることとなった。

#### **8. 会員区分「帰国留学生会員」新設と経済的援助**

大久保理事（国際交流担当）より、「帰国留学生会員」を新たに設置し、会費を無料とし、学会発表時の経済的支援を行うことが提案された。学会として「帰国留学生会員」設置に向けて検討することが決まった。帰国留学生会員の会費や大会参加費について議論がなされた結果、「帰国留学生会員」の会費、大会参加費、経済的支援等の案をいくつか出した上で次回の理事会で再度審議されることとなった。

#### **9. 2023 年度以降の国際交流担当主事の新規任命**

大久保理事（国際交流担当）より、国際交流担当主事の新規任命が提案された。主事の人数の上限が規則で決まっていることから、臨時委員会の設置を検討することとなった。

#### **10. 高校生ポスター発表の参加校への「森林科学」の 1 年間無料配布**

太田理事（中等教育推進担当）の代理として正木理事（副会長）より、高校生ポスター発表の全参加校に、参加賞として次年度の森林科学 1 年分を無償配布することが提案され、提案の通り承認された。

#### **11. 前回までの議事録**

2022 年度第 2 回（通算第 481 回）理事会議事録、2022 年度（令和 4 年度）第 1 回臨時理事会議事録、2022 年度第 2 回メール理事会議事録が承認された。

#### **12. 次回理事会の開催日程**

次回の理事会は、連携学会長合同会議として会場とオンラインを併用して、2022 年 12 月に開催することが承認された。

#### **報告事項：**

本理事会で報告された事項は以下のとおりである。

## 1. 第 134 回大会（鳥取大学）の準備状況

山中理事（大会担当）より、134 回大会（鳥取大学）の大会スケジュール、公開シンポジウム、大会参加者の交流ツールの導入、公開シンポジウム関連のパネル展の開催、研究発表方法、予算案、について報告された。

梶本理事（プログラム編成担当）より、第 134 回大会のお知らせの発行、公募セッション 3 件、企画シンポジウム 7 件の申込みがあり、メール審議にて採択を検討中であることが報告された。

学会企画は企画担当が取りまとめること、各種委員会の開催については総務担当と相談しプログラム編成担当と事務局に連絡することが依頼された。

## 2. 総務担当からの報告

陣川理事より、第 135 回大会の準備状況、会員名簿の作成状況、科研費（研究成果公開促進費）の応募状況、シンポジウム等 8 件の後援依頼承認、会員動向について報告された。伊藤理事より、「図説 日本の森林」（朝倉出版）の進捗状況について報告された。

## 3. 会計担当からの報告

伊藤理事より、第 133 回大会（山形大学）会計収支、2022 年度半期決算は 12 月理事会での報告になることが報告された。

## 4. 日林誌編集担当からの報告

長池理事より、投稿審査状況、論文賞の選考状況、日本森林学会誌第 105 巻表紙写真の募集、オンラインジャーナル化に伴う日本森林学会誌第 104 巻増刊号（7 号）は 12 月 1 日に発行されることが報告された。また、「出版倫理に反する投稿論文の不正行為等の取り扱いに関する申し合わせ」を改訂し、不正行為に該当しないが協議すべき事案が発生した場合の対応措置について「その他」として追加することが報告された。

## 5. JFR 編集担当からの報告

溝上理事より、出版状況、特集号・Invited Review の掲載予定、最新の IF は 1.67 であったこと、論文賞の選考状況、学会 HP の更新、JFR 投稿プラットフォームの変更に向けて詳細を確認中であること、LONGDOM 社の発行する「Forest Research」誌の Web 上でのヘッダー名が「Journal of Forest Research」になっており、Taylor & Francis 社を通じて抗議していることが報告された。

## 6. 森林科学編集担当からの報告

石崎理事より、発行状況、直接広告契約を 1 件獲得したこと、96 号の高校生ポスター発表に関する記事を J-stage で公開することが報告された。

## 7. 広報担当からの報告

正木理事より、ウェブサイトの更新状況と改善点、メールマガジンの発行状況、Twitter の活用や Google フォームの活用等の新たな取り組みについて報告された。

## 8. 表彰担当からの報告

小杉理事及び玉井主事より、日本農学進歩賞の応募が無かったこと、学会各賞の応募状況、日本農学賞の候補者推薦について報告された。日本森林学会奨励賞の年齢制限について、育休期間

など研究活動休止期間を考慮するように表彰委員会で検討することが報告された。

#### **9. 企画担当からの報告**

井上理事より、企画委員会の開催し、国内研究機関連携担当と連携した森林科学での特集・学会企画シンポジウムの開催、学生・若者向けの公開セミナーの企画を予定していることが報告された。各担当からの学会企画の提案は 11 月の大会申し込みまでに受け付けたいと各理事への依頼があった。

#### **10. ダイバーシティ推進担当からの報告**

久保田理事より、ダイバーシティ推進委員会の開催、男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席、男女共同参画学協会連絡会シンポジウムへの参加を予定していること、第 134 回大会での学会企画と会員サポート企画の開催を予定していること、第 133 回大会のダイバーシティシンポジウム動画を会員向けページで公開したことが報告された。

#### **12. 林業遺産担当からの報告**

檀浦主事より、2021 年度までの林業遺産の選定数、2022 年度の林業遺産選定のスケジュール、林野庁からの後援について報告された。

#### **13. 中等教育連携推進担当からの報告**

太田理事（中等教育推進担当）の代理として正木副会長より、高校生ポスター発表について、大日本山林会の協賛と国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の助成が決定したこと、第 10 回高校生ポスター発表の高校へのお知らせと大会中の実施方法、日本森林学会ウェブサイト内に「中等教育連携」ページを作成したことが報告された。

**議事録作成者：**陣川雅樹，小田智基